

# 保育おおさか

No. 487

平成 28 年 3 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪市中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

http://www.ans.co.jp/u/osakahtoiku/

## 各地域でCSWとの意見交換・事例検討などを実施

### スマイルサポーターフォローアップ研修

昨年11月から1月にかけて、各ブロックでスマイルサポーターフォローアップ研修が開催されました。その内容を紹介します。

**泉州ブロック**は、10月23日に和泉市コミュニティセンターで開催。他種別施設のCSW、社会貢献支援員からも参加がありました。地域貢献事業推進委員の土金新治氏が、スマイルサポーターの役割について「育児相談・地域貢献事業は、特別な事業をはじめめる感覚ではなく、今まで行ってきた子育て支援の視点から行える事業です」と説明しました。

**河内ブロック**（八尾市）では、11月16日に八尾市立総合体育館で老人福祉施設のCSWなども参加し、情

報交換・意見交換会として開催しました。

冒頭、八尾市の社会資源や制度、事業についての説明が行われました。その後、参加者がグループに分かれ意見交換。参加者からは「お互いの事業がよくわかる、よい機会になった」「これからの連携のあり方について明確になった」「今抱えている課題の解決のきっかけをもらった」などの感想が述べられました。

**堺ブロック**では、11月16日に堺市産業振興センターで開催。地域貢献事業推進委員の重谷崇夫氏が、大阪しあわせネットワーク支援システムの概要について「支援システムを積極的に活用することで、各施設のスマイルサポーターの配置状況の把握と、社会貢献活動実践情報の共有を行うことができます」と説明しました。

その後、社会貢献支援員が対応した事例をもとに事例検討を行いました。

**南大阪ブロック**は12月16日にシェラトン都ホテル、**河内ブロック**（東大阪市）は1月26日に東大阪市立総合福祉センター、**北摂ブロック**は1月29日に茨木市福祉文化会館で開催。各ブロックで、地域貢献事業推進委員会委員長の熊井茂治氏が講演。

熊井氏は「大阪しあわせネットワーク」の事業内容について「現在、スマイルサポーターの取り組みでは、

関係機関へのつながりを中心に相談者と関わっていますが、今後は実際に行って、見て、聞いて、状況把握を行うことが重要。そのためには地域のCSWとの協働が必要になってきます」と説明。また「保育士は保育園・こども園に雇われているという意識が強く、社会福祉法人の職員であるという意識は弱い。保育士というだけではなく、社会福祉法人の職員だという意識をしっかりとつこことが重要」と結ばれました。

講演の後、**北摂ブロック**、**南大阪ブロック**では、大阪府社協・社会貢献支援員が、生活困窮者レスキュー事業の経済援助件数のデータをもとに、これまでの援助内容について説明。その後、支援員が対応した事例をもとに事例検討が行われました。

特に**河内ブロック**（東大阪市）では、東大阪市のいきいきネットCSWから実践報告と事例検討会が行われました。いきいきネットCSWは平成18年に東大阪市から委託を受け始めた事業で、専門機関と連携を取り、問題解決に向けて支援をしています。

スマイルサポーター、いきいきネットCSWとの情報交換も行い、お互いの専門性を理解しあうことで、今後の連携につながっていく、よい機会になりました。

※北大阪ブロックは本紙482号に掲載



「サービス」。この言葉の意味を2年前の私は、一般的に利用者のニーズをつかみ、それに応えることで満足していた。自分たちの利益を生み、さらによりよいサービスを提供することだと考えていました。

しかし、社会福祉法人が提供するサービスとは、市場ベースだけではなく、制度化されていること以外でも、ニーズがあれば人の関わりの中で提供をしていくものではないか、と思うようになりました。

保育園・認定こども園は、通園している子ども・親に支援が必要なきは、どの機関よりも早く見つけられる「支援の第一歩」として、社会資源へのつながりを行っています。この活動は、利益を生むものではありません。支援を拒む利用者もいると思いますが、それでも、関わり続けることができるのは、先生方が「福祉の心」をもっていらっしゃるからだと思います。

これから私も、社会福祉法人の職員としてその心を培っていききたいです。

(K・T)



# 「なぜ虐待をしたのか」と考える視点が大切

保育部会  
職員研修

2月4日、薬業年金会館にて、河野朗久氏（河野外科医院理事長、大阪府監察医）が講演。140人の参加のもと「子どもの安全を守るために」をテーマに、乳幼児の死亡につながるさまざまな危険要因の中から現場で起こり得る事象を踏まえ、法医学的見地より講演をされました。以下は要旨です。

虐待に変化している。私たちは、子どもが虐待を受けていることを最初に気づく可能性が高い施設・職種である。発見した時には「ひどい・なんてこと」という思いだけではなく「なぜ虐待をしたのか」と考える視点が大切。

児童虐待は、さまざまな虐待があり、今から20年前は虐待相談の対応件数が年間1500件程度でしたが、昨年は、7万件程度になり、現在も増え続けている。児童虐待のほとんどが「良い親でありたい」「良い子に育ってほしい」など親の心理や子育てのストレスから

私たちは虐待を通告する立場にあり、虐待を発見した時には、客観的に物事（傷の大きさ・場所・色・形・種類）を見ること、そしてできるだけ細かく記録することが大切。一番簡単に記録する方法は、写真を撮ること、取り方のポイントは①傷全体②自然な体位③傷に対して真正面から撮影する、この3点。



河野朗久氏

虐待を受けたことによって事故につながるケースとして「乳児揺さぶられ症候群」がある。特に慌ただしい朝（両親が出社・登園準備をする時間帯）に起こることが多く、虐待を受けた子どもは①発熱②哺乳力の

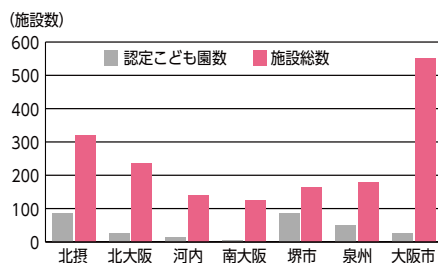
低下③嘔吐④手足の痙攣やつっぱりなどの症状を起こす可能性があり、症状が見受けられた時には、救急車を呼び、救急隊員に脳内出血の可能性を伝えることで、高い確率で死亡にはつながらない。

## 子ども子育て支援新制度に係る集計を実施した

## 保育関係資料集発刊

今年も保育関係資料集が発刊されます。この資料集は、府内市町村の保育施策の実施状況、待機児童数の補助金額や内容など比較検

各市町村別認定こども園数（5月1日）



今後、増えていくであろう虐待に、どう向き合っていくのか、また私たちに何ができるのかを考えさせられ、一人ひとりが思いやる気もちをもち、行動することが子どもを守り虐待を減らす一番の鍵になるのかもしれません。親子が笑顔になり幸せになれる環境作りを目指していきたいと思っています。

（調査研究委員K・K）

討でできる内容となっており、市町村単一の状況のみならず、府内の市町村の状況を

確認することができ、保育組織が行う保育事業の調査研究という観点では、全国的にも少ない継続調査、パ

ネル調査の一つといえます。

今年度は子ども・子育て支援新制度が施行されたことにより、施設型給付費や地域型保育給付費に対応する設置主体や事業体系が多岐にわたり、従来の保育所を対象とした調査から拡充しました。

昨年度までの各市町村ア

ンケートの内容をすべて見直し、幼保連携型認定こども園から保育所、幼稚園小規模保育事業などに至る項目や内容を含めたアンケート調査を実施。

そのためデータ量が例年に比べ膨大な量となりましたが、各市町村別の認定こども園、保育所、幼稚園小規模保育などの利用人数

施設数、利用定員などの掲載と併せて、新制度施行初年度の各市町村の動向を対

比できるように、各市町村概況を作成しました。補助要綱においても認定こども園

部分が追加されていますので、ご一読ください。

認定こども園の施設数は大阪府が全国1位、287施設あります。内訳は公立民間あわせて、北摂80、北

大阪25、河内16、南大阪7、堺市79、泉州49、大阪市31。

認定こども園、保育所、幼稚園の総施設数での認定こ

ども園の割合は、公立、民間あわせて北摂23・9%、北大阪10・6%、河内11・6%、南大阪5・6%、堺市48・8%、泉州28・2%、大阪市5・6%となっています。

保育所、幼稚園のど

ちらからでも移行できる認定こども園には、とくに堺市で多くの施設が移行したことがうかがえます。

次年度以降の認定こども園への移行計画数は98施設。今後各市町村において認定こども園への移行が進んでいる状況です。

また、1号認定・2号認定・3号認定の入所児童数も掲載しており、とくに認定こども園において、1号認定児童を定員設定し受け入れることができるという新たな制度があります。

移行する際の1号認定の設定において参考にしていただき、各地域にどれくらいの1号認定の入所児童があるのか、定員設定の有無や設定人数などの判断の参考にしていただければと思います。

末筆となりましたが、保育関係資料集作成にご尽力いただきました府及び市町村のご担当者、先生各位に厚く御礼申しあげます。この資料集を用い、それぞれの地域の保育ニーズと動向に着眼し、保育運営のご参考にしていただければ幸いです。（調査研究委員H・Y）

# 小規模保育所との連携模索

子どもたちの経験を大切に

保育所

あまかわ

天川保育園

高槻市

また、子どもたちの生活面から見ると、固定メンバーでの育ちにメリットとデメリットがあると感じておられ、人間関係が安定的に継続する一方で刺激が少なくなりがちで、とくに2歳児は遊びの発展が限定的であったり、ごっこ遊びが画一的になっているように



スプラウトキッズ外観

この本園の理念のもと、平成27年4月に小規模保育所「スプラウトキッズ」を開設しました。現在0歳児3人、1歳児3人、2歳児3人の定員で運営。利用定員は最大19人まで。連携施設として設定されている天川保育園が受け入れられる人数をリミットとして定員を設定されたそうです。



スプラウトキッズの保育室

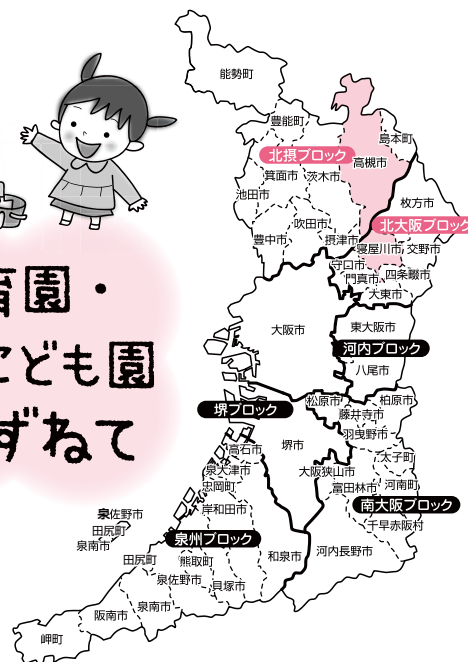
同じ4月からスタートしましたが、人数は少なくとも保育所としての機能を要求されるため、膨大な事務量と人的配置の難しさを感じたことや、さまざまな申請書類が同時期に集中、通常の認可保育所と同じ量の事務が必要となったことに負担を感じておられました。

他者の存在を感じ、他者との関わりを楽しむ大切な時期。この時期の経験の幅を厚くすることは緊急の課題であると感じ、積極的に天川保育園との交流を図っていました。

(編集委員M・K)

## 保育園・認定こども園をたずねて

533



しからゆり保育園は公立から民営化されて5年目を迎えた定員130人の保育園。民営化当時、廊下を明るい色に、保育室に畳スペースや床暖房を取り入れたりと、松岡浩理事長のさまざまな工夫で、子どもたちが心地よく過ごせる園舎になりました。

保育では体操教室やスイミングを取り入れたことで、子どもたちの体力が向上、ケガが少なくなったそうです。また、外国人による英語教育も取り入れています。英語を教えるのではなく英語で遊ぶことで外国の人・



▲乾布摩擦で強い体!!  
▶日本の心にふれます



(編集委員T・T)

文化・言葉に慣れ親しんでほしいという思いからです。年長児クラスは和太鼓や竹馬に取り組み、生活発表会では童話や落語の話を「絵巻」にして披露。日本文化にふれる機会を積極的に取り入れています。



絶対に負けない!!

## 英語で遊ぶことで外国文化に親しむ

薄着保育で明るく元気

保育所

寝屋川市

しらゆり保育園

# 保育園・保護者・子どもの つながりを大切に

地域の子育てのセンターとして

堺市

保育所

おおとり保育園

入園説明会では、保護者に自分の子どもも他の子どもも同じように叱ったり褒めたりしてあげてほしい子どもたちみんなのお母さんお父さんになってほしいとお願ひしています。保護者同士の横のつながりも大切に、どの子ども大切にされるように心がけています。



地域の方々がゲストでよさこい

「お互いの気もちを理解し、心にゆとりをもてるように、自分の周りに支えてくれる人を見つける。その支えの一つに園がなればと思っています」と新宮英子園長は話されました。

（編集委員R・T）

平成27年度から、幼保連携型認定こども園に移行され、保育園時代と基本的には変わらない保育、教育目標で、0歳児から就学前の園児まで定員133人が元気に生活しています。

広い園庭を利用して、子どもたちが駆け回ったり、ボール遊びや三輪車、縄跳びと楽しく体力作りをしています。

食育にも積極的に取り組んでおられ、園庭で幼児クラスのお友だちが野菜の栽培を行い、収穫後は保育教諭や栄養士の指導で調理し、赤・緑・黄の食品群のことやお箸のもち方、食後の歯磨きの仕方などを身につけ、食の力を育てています。

乳児クラスでは育児担当制を導入。園児の欲求が、十分に受け入れられ、愛着関係が形成されるよう、ひとりひとりの個性を大切にしたい保育をされています。

知育も、知識の詰め込みではなく、「食べている食材の名前や色の理解」から、「身の回りのことが自分でできる」「先生やお友だちのお話を聞き、理解できる」「自分の意見をはっきり話せる」「簡単な数の概念の理解」など29項目が入学までに身につけられるよう、主幹保育教諭を筆頭に、全職員が嘱託医、保健師とも連携して保育を行っておられます。

「和泉市の北部は、



みんなで白みそ作り、野菜を切ってお雑煮を作ります

（編集委員K・A）

「家庭的な雰囲気の中で、つながろう。ひとりがみんなのために、支え合おうみんながひとりのために」を法人のスローガンとして運営。

給食は安心して口にしてほしいという思いから、なるべく農薬を使用していない野菜を選び、国産の産地直送の食材、冷凍されている

おとり保育園は平成20年に開園。前身は昭和48年、鳳地域に2歳児からの保育所しかなかった時代、子どもを育てながら仕事も続けたいお母さんたちが集まって乳児保育を始めた、おとり共同保育所でした。



入園式の様子

保育園・  
認定こども園  
をたずねて

534



一人ひとりの  
子どもの個性を大切に  
「安全」「安心」「成長」を願い  
養護と教育を実施

幼保連携型認定こども園

信太保育園

和泉市



## シリーズ●より良い保育士養成のために

### － 保育者のためのキャリア形成 －

## 保育職の継続と離職－指定保育士養成施設卒業生調査から(その3)

相愛大学 中西 利恵

指定保育士養成施設卒業生の卒後の動向および業務実態から保育職の継続と離職を考えてきました。多岐にわたる調査結果からの検討は、本号を最後とします。

○卒業直後の勤務年数

図1は、現在、保育・福祉関係の職場で就労しているが、卒業直後の就職先は退職している人を対象に、最初の職場での勤務年数の調査結果です。卒業直後の就職先を退職した年数は7～12カ月（半年以上1年以下）が最も多く26・1%、続いて37～60カ月（3年以上5年以下）が15・9%、5年以下が15・9%。特に、「半年以上1年以下」で退職した人の割合は、

卒業後の年数にかかわらずすべてにおいて高い結果でした。このことから、卒業後1年と3年が卒業直後の職場の離職と継続の分岐点になっていることがうかがえます。このような実態をふまえ、保育職継続支援の手がかりを探りたいと思います。

○専門性を意識する

卒業後2・6・11年目の保育職従事者に、専門性を現場の中でどのように意識しているのかを聞きました。全体の傾向を図2に上位10項目示しました。卒業後の年数別で傾向を

みると、「2年目」の人では「子どもの体調の変化や異変に気づく」を選んだ割合が高く、「6年目」では「保護者への支援や助言」が、「11年目」では「行政や他の専門機関と連携」が全体に比べて多く選ばれています。卒業後の年数が増すに従い、視点が子どもを中心におきながらも、保護者そして社会環境へと広がっている姿がみられました。

○専門性を高める

同じく、どのように自己研鑽に努めているのかを聞

図1 卒業直後の就職先の勤務年数 単位%

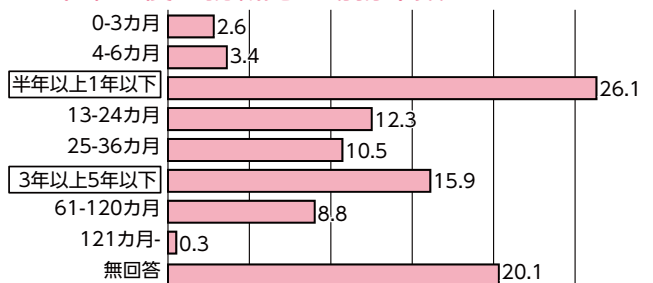


図2 専門性を強く意識する場面

複数回答  
[上位10項目] 単位%

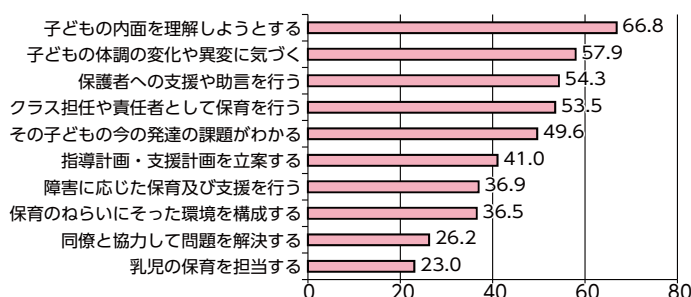


図3 専門性を高める方法

複数回答  
[上位10項目] 単位%

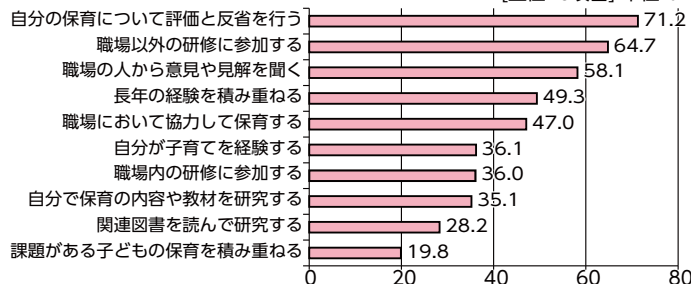
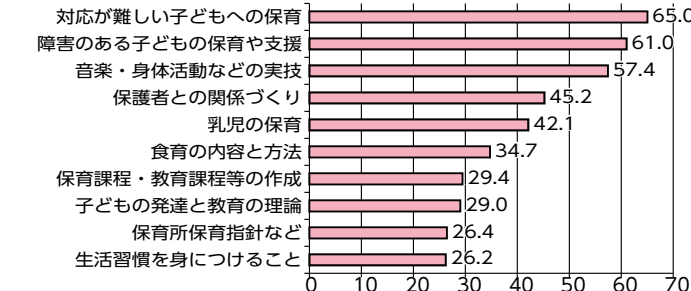


図4 希望する研修の内容

複数回答  
[上位10項目] 単位%



資料:全国保育士養成協議会『保育士養成資料集 第50号』2009年

きました。図3は仕事の専門性の高め方の上位10項目です。卒業後「2年目」の人では「自分で保育の内容や教材を研究」、「6年目」では「職場以外の研修に参加する」、「11年目」では「事例検討会等に参加する」が、全体に比べて多くなっていました。このことは、卒業後間もないころは自分で日々の保育を「ふりかえる」行為をしていることがうかがわれ、卒業後6年経つ頃には外部の研修に目が向くようになり、11年経つと「事

例検討会」でより深い考察をするというように、保育者として成長し続けている姿が示唆されました。

○希望する研修内容

研修への意識は高く、受けた研修の内容を質問しました。図4は全体の上位10項目です。卒業後年数が少ないほど、音楽などの実技や実際の子どもや保護者との関わり方など日々の保育に直結するような内容の研修を多く希望しているという傾向が見えました。

いほど研修を希望する人の割合が高くなっていました。これは、「2年目」の人では自分で日々の保育を振り返ることが多く、卒業年次が上がるにつれて外部の研修に目が行くようになる傾向と重なります。

以上、どのタイミングでどのような研修が用意されるかが、保育職継続に大切であることがわかります。成長し続ける保育者の支援としても機能します。

# ブロックだより

OSAKA

## 南大阪

個々の発達にあった  
保育の大切さを実感

1月27日、LICCはびき  
ので株式会社日本総合音楽  
研究関西支社の安宮千恵子  
氏を講師に新任職員フオ  
ローアップ研修を開催。52  
人が参加しました。

春に実施の「新任職員研  
修」の振り返りと、以下の  
発表が行われました。今年  
度の振り返りでは、保護者  
とのコミュニケーションの  
難しさ、行事参加への不安  
などの一方で、子どもと信  
頼関係ができた喜びや先輩  
職員の保育の進め方を学べ  
た喜びなどが語られました。  
また、来年度への抱負で



次年度に向けて学びを深める参加者

は、子どもの発達にあった  
適切な援助を心がけること  
や、叱り方の工夫に取り組  
みたいといった意見が多く  
ありました。

次に、講師が提示する項  
目で自己評価を行い、社会  
人としての評価、保育の質  
における評価などを見直し  
ました。時間や期限を守る  
ことの大切さや、子どもの  
意欲を引き出す遊びの提供  
の必要性などが伝えられま  
した。研修後半は、現在担  
当している月齢クラス毎に  
分かれ、活発な意見交換が  
行われました。各園の特色  
を踏まえた子どもへの関わ  
り方の発見や、月齢毎の発

## 泉州

リフレッシュダンス  
で身体元気！

泉州民間保育士会では1  
月9日に、エイベックス・  
アーティストアカデミーよ  
り、JSDA公認インスト  
ラクターの方々をお招きし  
研修会を行いました。

岸和田市総合体育館サブ  
アリーナの中は、230人  
の参加者の活気があふれん  
ばかり。座学でダンスの歴



みんなで軽やかにステップ

史のお話のあと、さっそく  
実践を開始。

基本のエイトビートのリ  
ズムにあわせ、オンビート  
(表のリズム)、エンビート  
(裏のリズム)を感じながら  
ステップ。ジャンプ、手拍  
子と次々と課題が増えてい  
くたびに館内にどよめきが  
いつも子どもたちと活動

的に毎日を過ごしている先  
生たちなので、飲み込みが  
早く、どんどん課題をクリ  
ア。最終的に4つのチーム  
に分かれて練習を重ね、互  
いに発表するまでに至りま  
した。真剣に学ぶ姿勢と満  
面の笑顔。キラツとこぼれ  
る汗の輝き。大きな達成感  
に包まれたひと時でした。

最後に子どもにダンスを  
指導する時の要点として  
①まず音楽と一緒によく聴  
いて覚える。②わかりやす  
く具体的な言葉を使って表  
現する、などのアドバイス  
をいただきました。

「何より、自分自身が楽し  
むことが大切。大人が楽し  
そうに取り組む姿は、子ど  
もたちの興味や意欲を高め  
ます」と話されたことがと  
ても印象に残りました。  
(アンビート)も園T・F)

## さんぽ



ひな祭り 3月3日は桃の  
節句。女の子の健やかな成長  
を願い、美しい雛人形を飾っ  
てお祝いする日本の春の伝統  
行事です。

実はこのひな祭り、もとも  
とは女の子のお祭りではなく、  
邪気が入りやすい季節  
に「穢れ」を祓うための  
儀式だったそうです。

日本のひな祭りの  
ルーツは、3世紀前後の  
古代中国の風習に基づくとい  
われています。中国では、季  
節の変わり目は災いをもたら  
す邪気が入りやすい」と考え  
られ、3月の最初の巳の日  
上巳に水辺で禊を行ったり、  
盃を水に流して自分のところ

## 日本古来の 伝統文化継承を大切に

南大阪  
ブロック

るための儀式であったものが、  
平安時代には宮中行事へと変  
化したといわれています。川  
のほとりに男女が集まり、災  
厄を祓う「上巳の祓い」とし  
て「曲水の宴」を催したり、草  
木や紙などでかたどった人形

も変わり、形すら大きく変  
わってきました。イベントが  
好きな若い人たちも増えたこ  
とで、マスコミや企業側の理  
屈に流されてしまっているよ  
うに感じるのは、私だけで  
しょうか。

形あるものにはすべてに意  
味があります。  
日本人としての誇りをもつ  
ためにも、大切にしていかな  
いといけないことだと私は感  
じております。

(石川保育園A・M)